

徳島県公共施設等総合管理計画 新旧対照表

(_____ は、修正部分)

該当頁	修正後	現行																																
P. 17 IV 公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本方針 (3) 「現状や課題に関する基本認識」及び「施設のあり方見直し方針」～徳島県における公共施設のあり方の抜本的な見直し方針～ ④ 各部局の「見直し方針」及び「主な取組み」	(略) <table border="1" data-bbox="450 384 1285 587"> <thead> <tr> <th>部局名</th> <th>未来創生文化部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本的な方向性</td> <td>児童・青少年対策や文化・スポーツの振興、文化財の保存・活用など、中核的な拠点となる施設については、人口減少等の環境変化があっても不可欠な施設であり、基本的には存続し、老朽化対策を行う。一方、一定の役割を終えた施設については廃止する。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="450 608 1285 1310"> <thead> <tr> <th>主な施設名</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年センター</td> <td>令和4年度にアミコビルへ移転するとともに、当センターを含む敷地内に「徳島文化芸術ホール（仮称）」を建設するため、現施設については除却する。 また、「徳島文化芸術ホール（仮称）」を整備するに当たっては、「県青少年センター」の機能の一部を、「旧徳島市文化センター」「徳島市中央公民館」の機能も併せて集約した「新たなホール」として整備する。</td> </tr> <tr> <td>中央こども女性相談センター</td> <td>平成21年度に児童相談所と女性支援センターを統合し、連携して事業を実施しており、今後も継続する。地震・津波等自然災害発生時の安全確保の観点から1階施設の上階への移転を検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>徳島学院</td> <td>県下唯一の児童自立支援施設であり必要な施設である。耐用年数を経過、又は耐用年数が近づいている施設があり、建て替えについても検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td>郷土文化会館</td> <td>平成18年・21年には耐震工事を含めた改修を実施したが、耐用年数を経過していることもあり、令和8年度に開館予定の徳島文化芸術ホール（仮称）との当面の連携を踏まえた効率的な改修が必要である。</td> </tr> <tr> <td>文化の森総合公園文化施設</td> <td>令和3年度に、博物館新常設展がグランドオープンし、来館者の増加も見込まれていることから、施設の長寿命化を進め、安全性と機能性の維持向上を図る。</td> </tr> </tbody> </table> (略)	部局名	未来創生文化部	基本的な方向性	児童・青少年対策や文化・スポーツの振興、文化財の保存・活用など、中核的な拠点となる施設については、人口減少等の環境変化があっても不可欠な施設であり、基本的には存続し、老朽化対策を行う。一方、一定の役割を終えた施設については廃止する。	主な施設名	検討内容	青少年センター	令和4年度にアミコビルへ移転するとともに、当センターを含む敷地内に「徳島文化芸術ホール（仮称）」を建設するため、現施設については除却する。 また、「徳島文化芸術ホール（仮称）」を整備するに当たっては、「県青少年センター」の機能の一部を、「旧徳島市文化センター」「徳島市中央公民館」の機能も併せて集約した「新たなホール」として整備する。	中央こども女性相談センター	平成21年度に児童相談所と女性支援センターを統合し、連携して事業を実施しており、今後も継続する。地震・津波等自然災害発生時の安全確保の観点から1階施設の上階への移転を検討する必要がある。	徳島学院	県下唯一の児童自立支援施設であり必要な施設である。耐用年数を経過、又は耐用年数が近づいている施設があり、建て替えについても検討が必要である。	郷土文化会館	平成18年・21年には耐震工事を含めた改修を実施したが、耐用年数を経過していることもあり、令和8年度に開館予定の徳島文化芸術ホール（仮称）との当面の連携を踏まえた効率的な改修が必要である。	文化の森総合公園文化施設	令和3年度に、博物館新常設展がグランドオープンし、来館者の増加も見込まれていることから、施設の長寿命化を進め、安全性と機能性の維持向上を図る。	(略) <table border="1" data-bbox="1317 384 2152 587"> <thead> <tr> <th>部局名</th> <th>県民環境部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本的な方向性</td> <td>児童・青少年対策や環境保全対策、文化・スポーツの振興など、中核的な拠点となる施設については、人口減少等の環境変化があっても不可欠な施設であり、基本的には存続し、老朽化対策を行う。一方、一定の役割を終えた施設については廃止する。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1317 608 2152 1262"> <thead> <tr> <th>主な施設名</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年センター</td> <td>平成20年に抜本的な見直しを行い、PFI手法の導入により耐震改修を実施するとともに、消費者情報センターの入居等、県民への総合サービス拠点として再編整備を行っており、今後も継続する。また、指定管理期間終了後も民間資金やノウハウの活用を図る。</td> </tr> <tr> <td>中央こども女性相談センター</td> <td>平成21年度に児童相談所と女性支援センターを統合し、連携して事業を実施しており、今後も継続する。地震・津波等自然災害発生時の安全確保の観点から1階施設の上階への移転を検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>徳島学院</td> <td>県下唯一の児童自立支援施設であり必要な施設である。耐用年数を経過、又は耐用年数が近づいている施設があり、建て替えについても検討が必要である。</td> </tr> <tr> <td>旧保健環境センター</td> <td>平成23年度から使用休止。建物の老朽化が進んでいること、他の用途への利用も見込まれないことから、撤去・更地の有効活用を検討する。</td> </tr> <tr> <td>郷土文化会館</td> <td>平成18年・21年には耐震工事を含めた改修を実施したが、耐用年数を経過していることもあり、魅力ある地域の文化拠点として、長期的使用も視野に入れた改修計画が必要である。</td> </tr> </tbody> </table> (略)	部局名	県民環境部	基本的な方向性	児童・青少年対策や環境保全対策、文化・スポーツの振興など、中核的な拠点となる施設については、人口減少等の環境変化があっても不可欠な施設であり、基本的には存続し、老朽化対策を行う。一方、一定の役割を終えた施設については廃止する。	主な施設名	検討内容	青少年センター	平成20年に抜本的な見直しを行い、PFI手法の導入により耐震改修を実施するとともに、消費者情報センターの入居等、県民への総合サービス拠点として再編整備を行っており、今後も継続する。また、指定管理期間終了後も民間資金やノウハウの活用を図る。	中央こども女性相談センター	平成21年度に児童相談所と女性支援センターを統合し、連携して事業を実施しており、今後も継続する。地震・津波等自然災害発生時の安全確保の観点から1階施設の上階への移転を検討する必要がある。	徳島学院	県下唯一の児童自立支援施設であり必要な施設である。耐用年数を経過、又は耐用年数が近づいている施設があり、建て替えについても検討が必要である。	旧保健環境センター	平成23年度から使用休止。建物の老朽化が進んでいること、他の用途への利用も見込まれないことから、撤去・更地の有効活用を検討する。	郷土文化会館	平成18年・21年には耐震工事を含めた改修を実施したが、耐用年数を経過していることもあり、魅力ある地域の文化拠点として、長期的使用も視野に入れた改修計画が必要である。
	部局名	未来創生文化部																																
基本的な方向性	児童・青少年対策や文化・スポーツの振興、文化財の保存・活用など、中核的な拠点となる施設については、人口減少等の環境変化があっても不可欠な施設であり、基本的には存続し、老朽化対策を行う。一方、一定の役割を終えた施設については廃止する。																																	
主な施設名	検討内容																																	
青少年センター	令和4年度にアミコビルへ移転するとともに、当センターを含む敷地内に「徳島文化芸術ホール（仮称）」を建設するため、現施設については除却する。 また、「徳島文化芸術ホール（仮称）」を整備するに当たっては、「県青少年センター」の機能の一部を、「旧徳島市文化センター」「徳島市中央公民館」の機能も併せて集約した「新たなホール」として整備する。																																	
中央こども女性相談センター	平成21年度に児童相談所と女性支援センターを統合し、連携して事業を実施しており、今後も継続する。地震・津波等自然災害発生時の安全確保の観点から1階施設の上階への移転を検討する必要がある。																																	
徳島学院	県下唯一の児童自立支援施設であり必要な施設である。耐用年数を経過、又は耐用年数が近づいている施設があり、建て替えについても検討が必要である。																																	
郷土文化会館	平成18年・21年には耐震工事を含めた改修を実施したが、耐用年数を経過していることもあり、令和8年度に開館予定の徳島文化芸術ホール（仮称）との当面の連携を踏まえた効率的な改修が必要である。																																	
文化の森総合公園文化施設	令和3年度に、博物館新常設展がグランドオープンし、来館者の増加も見込まれていることから、施設の長寿命化を進め、安全性と機能性の維持向上を図る。																																	
部局名	県民環境部																																	
基本的な方向性	児童・青少年対策や環境保全対策、文化・スポーツの振興など、中核的な拠点となる施設については、人口減少等の環境変化があっても不可欠な施設であり、基本的には存続し、老朽化対策を行う。一方、一定の役割を終えた施設については廃止する。																																	
主な施設名	検討内容																																	
青少年センター	平成20年に抜本的な見直しを行い、PFI手法の導入により耐震改修を実施するとともに、消費者情報センターの入居等、県民への総合サービス拠点として再編整備を行っており、今後も継続する。また、指定管理期間終了後も民間資金やノウハウの活用を図る。																																	
中央こども女性相談センター	平成21年度に児童相談所と女性支援センターを統合し、連携して事業を実施しており、今後も継続する。地震・津波等自然災害発生時の安全確保の観点から1階施設の上階への移転を検討する必要がある。																																	
徳島学院	県下唯一の児童自立支援施設であり必要な施設である。耐用年数を経過、又は耐用年数が近づいている施設があり、建て替えについても検討が必要である。																																	
旧保健環境センター	平成23年度から使用休止。建物の老朽化が進んでいること、他の用途への利用も見込まれないことから、撤去・更地の有効活用を検討する。																																	
郷土文化会館	平成18年・21年には耐震工事を含めた改修を実施したが、耐用年数を経過していることもあり、魅力ある地域の文化拠点として、長期的使用も視野に入れた改修計画が必要である。																																	